

由利高だより

第2号 平成27年10月2日



～「乙女の像」について～

本校の生徒たちを見守っている通称「乙女の像」について、紹介したいと思います。

「乙女の像」(正式な名称は『学舎に立つ』ですが、ここでは通称で表記します)は昭和35(1960)年、本校創立四十周年記念事業の一環として、当時本校に美術の教諭として勤務されていた渡辺俊蔵氏(昭和3(1928)生～平成21(2009)没)により制作されました。この年、渡辺氏は第2回秋田県展に、「乙女の像」の原型(石膏、高さ45cm)を出品し、特賞となります。これを受けて、また創立四十周年を記念する意味も込めて、白色セメント・高さ170cmで改めて制作したのが、現在の「乙女の像」になります。

なお、過去の資料を見ると、「乙女の像」のモデルは当時のバスケットボール部のキャプテンだったようです。

「乙女の像」制作当時、由利高校は本田仲町にありましたが、昭和50(1975)年に現在の川口に校舎(女子校時代の旧校舎)が移転したのに伴い、像も川口に引っ越します。しかし、当時は「乙女の像」は現在のような台ではなく、写真①に見られるようなコンクリートのブロックを積んだものの上に立っていたようです。これを見かねたのか、昭和53(1978)年度卒業生が台座を寄贈し、「乙女の像」は現在の形になります(写真②)。

その後、平成12(2000)年、本校創立八十周年を記念し、「乙女の像」は中庭から校庭に引っ越します。写真③に小さく見えますが、「乙女の像」は校門から入ってすぐの、木の下に立っていたようです。

平成19(2007)年、男女共学化に対応するため川口旧校舎の奥に現在の由利高校の校舎が建てられます(写真④)。平成20(2008)年に現在の校舎に学校の機能が移転すると、川口旧校舎は取り壊され、整地ののち現在の駐車場となります。校舎移転に伴い、「乙女の像」も引っ越しを行い、セミナーハウス隣の現在の場所に移動することとなりました(写真⑤)。

※校舎と「乙女の像」の動向

<元校舎> (所在地：本田仲町)

昭和35(1960) 本校創立四十周年を記念し、渡辺俊蔵氏により制作

昭和50(1975) 川口に新築された旧校舎の中庭に引っ越す

<旧校舎> (所在地：川口) 現由利高校の駐車場部分

昭和54(1979) 昭和53年度卒業生が台座を寄贈し、台座上に移動

平成12(2000) 創立八十周年を記念し、中庭から校庭に移動

<現校舎> (所在地：川口)

平成20(2008)頃? 新校舎完成・旧校舎解体に伴い、現在の場所(セミナーハウス横)に引っ越し

写真①：昔の「乙女の像」



写真②：台座の銘板



台座の下の敷石の後ろ側（この写真では見えない位置）にはめられています。

写真⑤：現在の「乙女の像」



台座が明らかに異なっています。

写真③：川口旧校舎（平成12（2000）年撮影）



写真④：写真③とほぼ同じ構図で現在の校舎を撮影したもの ※木も生長しています。



参考資料

由利高校創立 80 周年記念誌
編集委員会「白百合 創立 80
周年記念誌」（秋田県立由利高
等学校、2000 年）

渡邊俊蔵「周刻作品集「いのち
その軌跡」」（塚田美術印刷、
2000 年）

【由利高校連絡先】

〒015-8543
由利本荘市川口字愛宕山1番1
TEL 0184 (22) 3219
FAX 0184 (22) 3220